

テーブルの上には、白いテーブルクロスとパンの皿。ぽつんと置いてある何でもないそのテーブルに近づくと、見るまにクロスが引かれていて皿がずるする逃げていく…。これが映像の魔術師といわれるスタジオ・アッズーロのいたすらす。1982年、ミラノに生まれたこのグループは、コンピュータを自在に操りながら、アイデアいっぱいのおおらかなビデオ・アートを作ってきました。カメラマン出身のファビオ・チリフィーノ。映画作りをしていたパオロ・ローザ。イラストレーションを手掛けていたレオナルド・サンジョルジ。1982年にミラノに集まったこの3人に、ステファノ・ロヴェエダが加わった4人組が、新作を携えて日本にやってきました。世界各国、彼らの行くところには必ずセンセーションが巻き起こってきました。本展は、彼らが90年代になって取り組んできた「双方向性」をテーマとする大作4点を展覧します。どれもが日本初公開、テクノロジーがこんなにもヒトに近かったということを発見させてくれるでしょう。彼らの作品があなたが触ったり踏んだり、声をかけたりしてくれるのを待ちかまえています。スタジオ・アッズーロの魔法の世界をのぞいてみませんか？



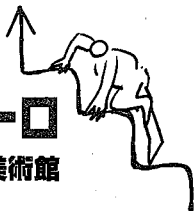
スタジオ・アッズーロ/左からパオロ・ローザ、レオナルド・サンジョルジ、ファビオ・チリフィーノ、ステファノ・ロヴェエダ

緑化フェア入場券を提示すると

美術館観覧料を10%割引きます

スタジオ・アッズーロ

1998.7.22-10.18 新津市美術館



スタジオ・アッズーロの軌跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1982 ファビオ・チリフィーノ、パオロ・ローザ、レオナルド・サンジョルジの3人によりミラノにて結成。「誇りの光/LUCI DI INGANNI」(ミラノ)
- 1984 環境ビデオの試みを開始。「泳ぐ人/IL NUOTATORE」(ヴェネツィア)
- 1985 この頃より劇場空間のデザインを始める。
- 1986 「スカラー再建/LA SCALA È RICONSTRUITA」(ミラノ) 映像と音楽のインスタレーション。演劇集団とのコラボレーションをさかに行う。
- 1987 「ラ・カメラ・アストラッター抽象の部屋/LA CAMERA ASTRATTA」をカッセルの「ドクメンタ8」で初演。ヨーロッパの9箇所で大演。
- 1989 音楽と詩とのコラボレーションに取り組む。
- 1991 パフォーマンスグループとのコラボレーション「ラ・カメラ・アストラッター抽象の部屋」をラフォーレミュージアム赤坂で上演。
「ポンペイへの旅/VISIT TO POMPEI」を名古屋国際ビエンナーレ ARTEC' 91出品。
- 1992 「万物の庭/IL GIARDINO DELLE COSE」(ミラノ) において従来のアースワーク的なインスタレーションから現実の要素をクローズアップした作品への転換を示す。赤外線カメラによる観客参加を試みる。
結成10周年記念の回顧展「環境ビデオ: 1982-1992年」(ミラノ) 東京、小倉、新潟のラフォーレミュージアムを巡回、日本で初めて彼らの活動の全体像が紹介される。
「旅/IL VIAGGIO」(東京) 無数の旅行路と、それを走査するX線映像を映し出すモニターによるインスタレーション。
- 1994 「テーブル/TAVOLI」
- 1995 インタラクティブ・システム担当のステファノ・ロヴェエダがメンバーに加わる。
電子映像と環境との統合を目指したインタラクティブ・システムによる作品の展開。
「コーラス/CORO」(トリノ、モレー・アントネリアーテ)
- 1996 「戦いの全景/TOTALE DELLA BATTAGLIA」(リルカ) インタラクティブ・ビデオ・シナリオ。
- 1997 「艦橋/CENCI」(ロンドン) インタラクティブシステムをオペラに応用。芝居の後もオペラの場面にアクセスして、画像とインタラクティブな対話を交わすことにより、自分だけの舞台を再現することができるようになる。
- 「天使に吐息を/IL SOFFIO SULL'ANGELO」
対談集「芸術を考える」シリーズ第1巻。ジャック・デリダやカルロ・シーニとの対話。
- その他ワークショップやセミナーの開催を通じ、教育・密着の分野でも積極的に活動。

ファビオ・チリフィーノ FABIO CIRIFINO

1949年ミラノ生まれ。アルド・パッロのスタジオで写真を学び、建築写真、デザイン写真の分野で活躍。1978年にスタジオ・アッズーロ・フォトグラフィアのプロモーターとなり、1982年より画像制作、映画・ビデオのフォトグラフィ・ディレクションとなる。

パオロ・ローザ PAOLO ROSA

1949年リミニ生まれ。プラ・アカデミーに学ぶ。ラボラトリオ・コミュニカツィオーネの創設者の一人で社会状況と結びついた芸術を目指す。1980年からスタジオ・アッズーロの活動に繋がる環境ビデオ、演劇、映画の制作を手がける。

レオナルド・サンジョルジ LEONARDO SANGIORGI

1949年パルマ生まれ。ハイテクによるドローイング、映画等に興味を持つ。国内外のテレビ番組と共同し、イメージとクラシック音楽との関連を検証するビデオ番組を制作。スタジオ・アッズーロの活動のかたわら、児童の教育活動にも携わる。

ステファノ・ロヴェエダ STEFANO ROVEDA

1959年ミラノ生まれ。さまざまなメディアを使い、レディ・メイド、トラッシュ・アート、コピー・アートの分野で活躍し、さらにその後カメラマン、ビデオエンジニア、3Dのアニメーター、ソフトウェアのエンジニアとしても活動。1995年より、スタジオ・アッズーロのメンバーに加わってインタラクティブな作品に関わっている。

